

市内製造業者を対象に 高利益型製品創りを支援！

当所では、製造業者の皆様と共に「高利益を生む製品創り」に向けての取り組みを本年度から継続して行うこととしております。製品化に成功した企業や製品化に関わった専門機関などを招いての勉強会や企業視察、試作品作りなどを通して既存商品の改良や新製品の完成に結び付けようというものです。

初回は、道内の食品産業の発展に貢献する、北海道立総合研究機構食品加工センター（道総研）の担当者を招いて、勉強会を開催しました。「ホタテ」や「サケ」の有効利用に関する様々な技術や各種事例などの紹介、道総研の機能などについての説明を受けました。参加者からはサケの白子を医療品の原材料として製薬会社に卸している。

また、魚の内臓を使った製品も

販売してきたが、地元で受入れられても道外のお客さまには受入れられない。原料となる魚が獲れないこともあり原料高となり、製品価格を上げても利益は変わらないため、高利益製品創りの必要性を感じている。また、製品の副産物の有効活用策を模索している。道総研との共同研究、あるいは委託研究する場合の進め方についての質問など、参加者から色々な声や意見が寄せられました。

今回は、魚を原料にして「コンドロイチン」と「コラーゲン」の製品化に成功し、販売をしている稚内の丸共水産㈱（別会社、丸共バイオフーズ㈱）を招き、製品化までの取り組みや製品の流通等についての勉強会を開催することとしております。

製造に関わる皆様のご参加をお待ちしております。

食品加工研究センターの研究内容

【ホタテの有効活用】

（貝殻から）⇒「貝殻の焼成カルシウムを用いた食品用抗菌剤」焼成技術や微粉碎技術を使います。（工業試験場と協力）

（貝柱の煮熱液から）⇒「新たな調味素材」膜分離技術を使います。

（ミミから）⇒「ミミを原料とした味噌様ペースト食品」酵素処理や発酵技術を使います。

（貝柱とミミから）⇒「ホタテ魚醬」発酵技術を使います。

（ウロから）⇒「ウロの生物化学的処理と利用」バクテリオ・リーチングと高度精製技術を使います。



【サケの有効活用】

（氷頭から）⇒「コンドロイチン硫酸入り健康食品」酵素処理や高度精製技術を使います。（釧路水産試験場と工業試験場に協力）

（肉と内臓から）⇒「サケの魚醬」発酵技術を使います。

（白子から）⇒「DNAと核酸」高度精製技術を使います。

（魚卵外皮から）⇒「新たなコラーゲン素材」高度精製技術を使います。

（皮から）⇒「サケ皮コラーゲンとコラーゲン入り化粧品」酵素処理や高度精製技術を使います。

（ブナサケの肉から）⇒「鮭節（さけぶし）」酵素処理技術と乾燥技術を使います（十勝圏地域食品加工技術センターに協力）「みそ様ペースト食品」発酵技術を使います。



あばしり
商工会議所

よ
云
議
所
ニ
ユ
ー
ス

〒093-0013

北海道網走市南3条西3丁目

TEL 0152(43)3031

FAX 0152(43)6615

平成28年9月号
No.250

ホームページ

<http://www.a-cci.or.jp>

facebook 7ドイ

<https://www.facebook.com/abashiricci>



網走市内のマスの水揚げが 5年振りに絶好調!!



写真 (伝書鳩提供)

漁船からマスが網走漁協において水揚げされる様子

網走漁協の担当者によると8月から9月上旬までに網走沿岸で獲れる網走のおさかな「活き粋き7珍」の中にも選ばれているマスの漁獲量が5年ぶりに絶好調であるそうです。

近年、温暖化や自然環境の影響により海流に変化が生じているようで、これまでオホーツク海では獲れることなかった比較的温暖海域に生息するイナダやブリなどが、たくさん水揚げされるようになりました。

一方、マスの群れが海外の海流に乗ってしまい諸外国では、マスは豊漁でしたが近郊においては不漁となっていました。

通常、鮭やマスの水揚げは、1年置きに豊漁と不漁を繰り返し、本年は不漁の年にあたることから期待出来ない年であったにもかかわらず、1日で百トンも水揚げする目が出るほど豊漁となり、昨年は、全国的に不漁だったことも要因し、1Kg、4百円台であった卸売単価が、今年、2

網走沿岸で魚介類の漁獲累計量 (8/23時点)

魚種名	今年の水揚げ累計量	昨年の水揚げ累計量	比較
マス	961 t	334t	288%
ニシン	55 t	85t	65%
釣りキンキ	30 t	35t	86%
毛ガニ	57 t	57t	100%
ズワイガニ	68 t	74t	92%
その他	19,219 t	29,069t	66%

百円半〜3百円前後まで値下がりがしています。市内でマスを扱う製造・卸売業者からは、年々高騰による魚価への対策に苦慮してきたが、ようやく加工数量がまとまり、安定供給されるようになったと安堵している声が聞かれました。その他、昨年と比較した漁獲量は次のとおりです。

協同組合アサイチの跡地が駐車場に！

網走市民の台所として、昭和30年頃より鮮魚や野菜を中心に商売を続けてこられた、協同組合アサイチが、平成28年3月末をもって約61年間の歴史に幕を閉じました。

その跡地には、今年6月1日に街中にオープンした「天然温泉・天都の湯ドームイン網走」の駐車場として生まれ変わることになりました。



現在の跡地の様子

協同組合アサイチの歴史



昭和30年
当時の朝市の様子

昭和30年初春、野菜作り農家だった金子太郎さん、川田駒吉さん、増田北男さん、石川新治さんらが「車止内川の上に板を張ってお店を開いてはどうか」という話しから、地元でとれる鮮魚や野菜を安く売れば、大間口を構える既存の商店と競合いできるという狙いから、元道議であった池津良太郎氏を代表に15人の発起人で網走朝市会を発足させました。昭和30年7月25日に、土屋看板店、赤池印章店、坂東せともの店、松木鮮魚店、鈴木雑貨店、川田鮮魚店、金子青果店を含む15店でスタートしました。

1店舗当たり1.5坪を基本としており、露店の雰囲気もあって市民にとって買いやすかったことから、上々のすべり出しとなったそうです。この成功もあり、翌年には協同組合として、南5～6条通りまでを新店舗として増築し、店舗数も33店舗に増加。最盛期には出店者が70店を数え、ある青果店では夕方までに商品が売れきれることもあったそうです。

昭和47年、12店舗が現在地（南4条西3）に新築移転して営業されてきましたが、本年3月末に臨時総会において解散することが決定。約61年間の歴史に幕を閉じることとなりました。

「網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは！

基本目標 ⇒ 基本方針 ⇒ 基本的な方向 ⇒ 具体的な施策の順

I 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出

1、産業振興策の構築

- (1) 地域産業の競争力を強化する取組
 - ① ブランド化と高付加価値化の推進
 - ② 強い農林水産基盤の形成
 - ③ 中心市街地と網走川周辺における賑わいの創出
 - (2) 国内外への販路拡大
 - ① 販路拡大に向けた支援
 - ② 網走港の活用
 - (3) 地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致促進
 - ① 再生可能エネルギーの利用促進
 - ② 省エネルギー・新エネルギーの普及
 - ③ 企業誘致の促進
- 2、多様な就労環境の創出
- (1) 若い世代を中心とした就労機会の拡充
 - ① 若者の就労支援
 - ② 女性の就労支援
 - ③ 障がい者やシニア世代の就労支援
 - ④ 若者や女性を含めた起業化・事業化、新製品創出支援

⑤ U・Iターンの推進

II 観光や健康・スポーツなど、網走の特徴を生かした交流人口の拡大

1、交流人口の拡大

- (1) おいしいまち 網走のブランド化
 - ① 観光素材・商品のブラッシュアップ
 - ② 天都山エリアの魅力構築
 - ③ 体験型観光の促進
 - ④ おいしいまち 網走のPR
 - (2) スポーツ・芸術文化を切り口とした交流人口の拡大
 - ① スポーツ・芸術文化合宿の推進と大会・会議の誘致促進
 - ② 新たなスポーツイベントなどの創出
 - (3) マーケット視点に立った観光客の誘致拡大
 - ① 広域連携による国外観光プロモーションの展開
 - ② 観光客の利便性向上
- III 若い世代が健康で希望に尽じて結婚・出産・子育てができる環境づくり
- 1、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

IV 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、自ら学び「明日をひらくひと」の育成

1、東京農業大学や日本体育大学付属高等支援学校との連携

- (1) 結婚・出産の意識改革
 - ① 結婚・出産・子育てに関する学習機会の提供
 - ② 出会いの場の創出
 - (2) 周産期・小児医療の確保
 - ① 周産期・小児医療提供体制の充実
 - ② 感染症予防対策の実施
 - (3) 出産・子育ての負担の軽減
 - ① 子育て世帯への支援
 - ② 妊娠・乳幼児の健診、相談等の実施
 - ③ 不妊治療・不育症に対する支援
- 2、ワーク・ライフバランスの実現
- (1) 学習機会の提供と実践
 - ① 子育て世代への学習機会の提供
 - ② 子供と子育てについての意識改革の推進
- 3、若い世代が安心して働ける場の確保
- (1) 雇用の場の創出と就労支援
 - ① ブランド化と高付加価値化の推進(再掲)
 - ② 若者や女性を含めた起業化・事業化、新製品創出支援(再掲)
 - ③ 若者の就労支援(再掲)
- 2、多様な人材の確保
- (1) 大都市圏などからの人材確保
 - ① 多様な知識・経験を有する人材の還流
 - (2) 人材の育成・確保
 - ① 各種多様な人材の育成・確保
- 3、子どもの学力・体力向上の推進
- 1、東京農業大学や日本体育大学付属高等支援学校との連携
 - (1) 東京農業大学との連携
 - ① 地元に着する人材の確保
 - ② 調査・研究機関の交流促進
 - ③ 地域連携センター機能の検討
 - (2) 日本体育大学付属高等支援学校との連携
 - ① 学校設立などに関する支援
 - ② 障がい者教育・雇用の支援
 - ③ 日本大付属高等支援学校による市民スポーツ活動の支援

(1) 子どもの学習環境の充実

① 子供の基礎学力や体力などの増進

② ICTを活用した授業の推進

③ 多様な学習の場の増出

4、社会教育の推進

(1) 市民の学びの場の充実

① 網走の地域資源や歴史・文化を学ぶ機会の創出

② 生涯スポーツの推進

V 支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり

1、住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤整備

(1) 安全・安心なライフラインの構築

① インフラの戦略的な予防保全

② 防止体制の強化

(2) 健康寿命の延伸

① 生活習慣病などの予防保全

② 休日・夜間の救急医療の確保

③ 高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくり

④ 日本版CCRCの検討

2、小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進

(1) コンパクトシティの推進

① コンパクトシティの実現に向けた取組

(2) 小さな拠点の強化

① 地域コミュニティの強化

3、公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進

(1) 公共施設などのマネジメント強化

① 公共施設などの計画的な管理

② 公共施設などの環境改善の推進

(2) 住環境の提供

① 空き家対策の推進

② 住環境の改善

4、地域間連携施策の推進

(1) 定住自立圏等の地域間連携

① 定住自立圏による地域間連携の推進

② その他の広域連携の推進



タカハシが、北東商事（札幌）を子会社に！

北東商事(株)（札幌）「キャッツアイ」は、1980年4月に札幌で設立され、北海道シェア NO1の複合アミューズメント施設として、ゲームセンターを中心に、ボウリング施設、カラオケ施設、温泉施設などを併設する施設を、関東エリアに3店舗、札幌近郊に12店舗、計15店舗を運営していましたが、創業者が引退することとなり、継承企業を探している中で、タカハシは、北東商事(株)の全株式を取得し、完全子会社化しました。

※売上高（見込）(株)タカハシ：約80億円（H26年8月期）

北東商事(株)：約36億円（H29年3月期）

※(株)タカハシ／「カラオケ歌屋」「スリラーカラオケ」など、全道57店舗（道央21店舗、道北10店舗、道南8店舗、道東18店舗）を経営

9月に開催される網走の主なイベント!!

第23回あばしり七福神まつり

全国各地の特産品や地元の農水産物などの味覚が一同に会する「第23回あばしり七福神まつり」が下記のとおり2日間にわたって開催されます。

本年は、メインステージを「らるあーと」(旧ラルズ跡地)に設置する他、3年ぶりに沖縄県糸満市の物販・実演販売などが予定されています。

また、同まつりに合わせて市内における公共交通機関の必要性や重要性を発信する場として、子供達に市内で運行しているバスを会場に展示し慣れ親しんでいただきます。詳細等につきましては当所まで。(☎0152-43-3031)



- 1、開催期間 平成28年9月3日(土) 11:00~19:30
9月4日(日) 10:00~16:00
- 2、場所 網走市アプト・4商店街、西三プラザ(南4条東2~西3丁目)
らるあーと(旧ラルズ跡地)
- 3、イベント ステージイベント(吉本芸人お笑いライブ、仮面ライダーゴーストショー、カラオケ大会、抽選会等)
物産・味覚イベント(全国各地の味覚と物産館7都市、ビアガーデン
地元の物産市と味覚市25団体)
その他イベント(YOSAKOIソーラン、ブラスバンド演奏会、全道骨董市等)

第52回能取湖さんご草まつり

絨毯のように赤く色づく能取湖・さんご草群落。2010年には群生地が縮小する事態に陥りましたが、2011年から園地整備で再生が進み、昨年、見事に「さんご草復活宣言!」が行なわれました。

本年は更なる再生により、日本一のさんご草群生地として輝きを増します。

今年も見頃に合わせて、さんご草まつりが下記のとおり2日間の日程で開催されます。

詳細につきましては当所まで。☎0152-43-3031)



- 1、開催期間 平成28年9月12日(土) 10:00~13:00
9月13日(日) 10:30~14:00
- 2、場所 能取湖畔さんご草祭り会場(網走市卯原内能取湖畔)
- 3、イベント ステージイベント(市内小中学校による演奏会、よさこいソーラン演舞等)
物産・味覚イベント(活ホタテ・つぶ貝販売会&賞味会、物産・味覚市等)

雄大なオホーツクの絶景を駆け抜ける

オホーツク網走マラソン大会

昨年、ランナーが自然と歴史豊かなまち・網走市を駆け抜ける「第2回オホーツク網走マラソン」が下記のとおり開催されます。

網走では、スポーツを通じて交流人口の拡大を目指す「スポーツ・ツーリズム」に力を注いでおり、健康的なまちのイメージを幅広く発信しようと多くの愛好者の関心と呼ぶ、オホーツク管内で唯一となるフルマラソン（42.195km）をメインに、一般市民向けの5kmと3kmのコースを合わせて約3千人の参加者が見込まれるマラソン大会です。

★大会スケジュール

9月24日(土) 17:30~	開会式・抽選会
9月25日(日) 6:30~	会場オープン、シャトルバス運行開始
9月25日(日) 9:00~	フルマラソンの部スタート(網走刑務所前)
9月25日(日) 10:00頃	5km・3kmの部スタート(大曲湖畔園地内)
9月25日(日) 11:00~	5km・3kmの部表彰式/収穫祭開催
9月25日(日) 15:00~	競技終了
9月25日(日) 16:00~	収穫祭終了



★関連行事

あぼしり うみと大地の収穫祭2016

第2回オホーツク網走マラソンのゴール地点を彩る「うみと大地の収穫祭2016」が下記のとおり開催されます。

網走青年団体連合会の主催で当所青年部も構成団体の一員として連携・協力し、全国各地から参加するランナーへのおもてなしと来場者に楽しんでいただけるよう成功に向けて尽力しております。

(実行委員長/当所青年部 今野嘉彦さん)

詳細等につきましては当所まで。(☎0152-43-3031)

- 1、開催期間 平成28年9月25日(日) 10:00~16:00
- 2、場 所 大曲湖畔園地内
- 3、イベント ステージイベント(白鳥いきいき太鼓&獅子舞、マラソン表彰式、東農大応援団&チア、Onちゃんダンス公開撮影、大抽選会等)
フィールドイベント(会場内スタンプラリー、トラクター展示、氷柱輪投げ、ふれあい水槽等)



※網走青年団体連合会構成団体／一般社団法人網走青年会議所、網走商工会議所青年部 日専連 網走青年会、網走漁業協同組合青年部、七日会、チームYOU便局、網走ロータクトクラブ、網走農業協同組合青年部、創始夢、Forever網走



網走商工会議所 9月のスケジュール



- ◆ 1日(木) 食の大商談会「インフォメーションバザール inTokyo2016」
〃 オホーツク網走マラソン実行委員会
〃 当所建設産業部会
- ◆ 2日(金) 当所理財部会
- ◆ 3日(土) らるあーと朝市
〃 あばしり創業ゼミナール(第4講)
〃 第23回「あばしり七福神まつり」開会式(4日まで)
- ◆ 5日(月) 戦略産業雇用創造プロジェクト合同企業説明会 in 北見
〃 当所商業部会、飲食・宿泊部会
- ◆ 6日(火) 経営指導員研修(木村、8日まで)
〃 第4回空港民間委託研究会
- ◆ 7日(水) 平成28年度 網走刑務所運動会
〃 ユーザ協会33地区協会長等との意見交換会
〃 当所製造部会
- ◆ 8日(木) 当所サービス部会
- ◆ 9日(金) 平成28年度 官公需確保対策地方推進協議会
- ◆ 10日(土) らるあーと朝市
〃 第53回能取湖さんご草まつり(11日まで)
〃 あばしり創業ゼミナール(第5講)
〃 山本電子工業(株)創立25周年記念感謝の集い
- ◆ 14日(水) 網走桂陽高校 平成28年度インターンシップ受入(15日まで)
- ◆ 15日(木) 日本商工会議所第124回通常会員総会
- ◆ 17日(土) らるあーと朝市
〃 あばしり創業ゼミナール(第6講)
- ◆ 24日(土) らるあーと朝市
〃 オホーツク網走マラソン2016開会式
- ◆ 27日(火) 第2回経営指導員連絡協議会
〃 第5回空港民間委託研究会
- ◆ 30日(金) 北見方面安全運転管理者協会「第40回安全運転セミナー」



小規模企業共済

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が
廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
おかげさまで、今年50周年を迎えました。

1

全国125万人 が加入

昭和40年に発足した実績ある制度で、現在は全国の経営者約125万人が加入しています。
(H27.3末現在)

2

掛金は 全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3

受取時も 税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

経営者のための
退職金制度です!




中小機構

TEL:050-5541-7171
(共済相談室)

小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/skyosai

お問い合わせ、お申込みの相談は・・・ ⇒ 網走商工会議所(43-3031)までご連絡ください!